



夏山蒼翠として滴るが如し



高峰小学校長 井上真彰

30年ほど前、結婚して子どもができた時に黄色い車に替えようと思いました。黄色は警告色で目立つため、事故に巻き込まれる確率が他の色に比べて低いことを知っていたからです。でも、その頃標準色に黄色を設定している国産車はありませんでした。後で知ったことですが、黄色は他の色と同じ回数塗る重ねでは金属の地色が透けて暗くなってしまうため、最初に白く塗ってから黄色に塗装するのでコストが掛かり、当時の日本車メーカーは設定色に入れなかったそうです。現在は随分見かけのようになりました。とても良いことだと思います。

子どもたちが登下校時にかぶる黄色い帽子も同様の考え方によるものです。もう随分昔のことになりますが、1959年に交通事故による死者数は初めて年間1万人を突破しました。これにより、日清戦争の日本側の戦没者数(13,309人)に迫る数として「交通戦争」と呼ばれるようになりました。この後も死者数は増え続け、1970年に最悪の16,765人を記録しました。実に直近(2022年は2,610人)の6倍以上の数です。これに心を痛めた当時の和歌山県警の警察官が黄色い帽子を発案して、その効果の高さ故に全国に広がっていったそうです。

本校の児童は登下校時に黄色い帽子をかぶっていますが、1年生は休み時間に校庭で遊ぶときにも黄色い帽子をかぶっています。確かにどこにいても目立ちます。天気予報によると、現在は南下している梅雨前線が7月半ばから北上してきて雨の日が続く見込みです。一番事故が起きやすい雨の日に、黄色い帽子は傘で隠れて見えにくくなります。雨天時の登下校における安全確保の方策として黄色の傘や黄色の長靴、黄色のレインコートなどがありますが、どれも学年が上がると身に着けなくなりがちのものばかりです。交通安全の願いに学年による差はありません。お子さんを交通事故から守るために、普段から身に着ける物に黄色を選んでみるのも良いかもしれませんね。もう夏休みは目前です。

高峰小学校は地域と共にある学校です。これからもご支援とご協力をお願いします。

朝の読み聞かせが始まりました

今年も「おはなしぱれっと」さんによる朝の読み聞かせが6月9日から始まりました。ご覧のとおり子どもたちはこの時間を心待ちにしています。AIによるニュースの読み上げも始まるような時代になりましたが、読み聞かせは内容の伝達を第一の目的とするものではありません。大人の「読んであげたい」という気持ちと、子どもの「読んで貰っている」という気持ちとの邂逅を第一の目的とするものです。社会への憧れの第一歩もこのようなところから始まっているのです。



租税教室を行いました

6月12日に厚木税務署から講師をお招きして、6年生を対象に租税教室を行いました。税金の使い道や自分たち一人一人にいくらの教育費がかかっているかなど、具体的な数字を挙げて分かり易くお話をしました。子どもたちには一人当たり月約8万円、義務教育9年間で約1,100万円がかかっているそうです。講師から「皆さんにもできることがあります。今使っている机や椅子も税金で買った物です。大切に使うくださいね」と言われて、神妙な面持ちでうなずいていました。写真は、アタッシュケースから取り出した1億円分のお札と同じ重さ約10kgの紙の束を一人ずつ持ってその重さを実感している場面です。



起震車に乗りました

防災教室の一環として、6月15日に4年生が起震車に乗って2007年に発生した新潟県中越地震における震度7の横揺れと、2011年に発生した東北地方太平洋沖地震における震度7の縦揺れを疑似体験しました。最初に緊急地震速報のアラーム音が流れて緊張感が高まると、突然容赦ない揺れが襲います。ご覧のように四隅に座っているのですが、それでも降りてきてもらは「まだ身体が揺れている感じがする…」と揺れの大きさに驚いていました。なお、当日は小野澤豊町長も来校され、この様子が6月17日の読売新聞に記事として掲載されました。



学校運営協議会を開催しました

6月20日に学校運営協議会を実施しました。学校運営協議会は地域を代表して学校の経営方針を承認する機関です。本校は高峰小学校区の区長代表、高峰保育園長、高峰駐在所警察官、高峰小学校PTA会長、地域学校協働活動推進員の5人の皆さまに委員をお務めいただいています。第1回目の今回は今年度の学校経営方針をご了承いただき、実際に授業を受けている子どもたちの様子をご覧戴きました。その後の協議では「子どもたちだけではなく、先生方も楽しそうに授業をしているところがとても良いですね」と嬉しいお言葉を頂きました。



AED講習会を行いました

4年ぶりに水泳の授業を再開するに当たり、6月20日に愛川町消防本部から講師をお招きして先生方を対象に胸骨圧迫と心肺蘇生、AEDの講習会を行いました。

胸骨圧迫とは心臓マッサージのことで、手を置く位置やタイミング、押し込む深さなど、心肺蘇生は息の吹き込み方や回数に加え、胸の上下動を目視で確認しながら行うことなど、AEDは本体が音声で指示するのでそれに従って周囲と連携しながら行うことなどを訓練人形による実践を交えて学びました。なお、本校のAEDは保健室に常備してありますのでご承知おきください。



水泳学習が始まりました

6月27日の3、4年生を皮切りに、4年ぶりとなる水泳の授業が行われています。コロナ禍により、既に4年生までが学校のプールを利用するのは初めてとなります。低学年を中心に、実施に備えて1週間ほど前から着替えの練習に取り組んでいました。気温も水温も30℃前後あり、十分に温かいのですが、入る前に浴びるシャワーの水はとても冷たくて、どの学年でも大きな喚声が上がります。それでもプールに入るととても気持ちよさそうに水泳を楽しんでいました。



学校・家庭・地域連絡会議が行われました

愛川中原中学校の体育館を会場にして6月30日に学校・家庭・地域連絡会議が行われました。愛川中原中学校の学区は高峰小学校と中津第二小学校の学区で構成されており、両学区内の区長、育成会の会長、青少年指導員、主任児童委員、少年補導員、保護司の方々を始め、学区内小中学校のPTA会長、地域学校協働活動推進員、学校運営協議委員と各校の管理職が出席して情報交換を行いました。



8月の主な行事予定

- 13日(日) 閉庁日
- 14日(月) 閉庁日 (日直がいません)
- 15日(火) 閉庁日 (日直がいません)
- 16日(水) 閉庁日 (日直がいません)



随時更新しています。
ぜひ、ご覧ください。



ホームページ



ブログ